

9  
8  
7  
6  
5  
4  
3  
2  
1  
0



園林文庫

文庫

もあくく九月みもらうまぬうんりくとある  
陽月とあるてぬうへせきを捨てり辛  
れ居あづきゆうざうもわうきに  
のあうとあるとうらうとくとくひみく  
せぬほどづへばとくうじくめでく  
よハリとせんやくやううどあるやどとぞ  
くゆりううととゆりいもうとま陽月  
のうあるとあるこの世のうとくみくづ  
いとくうとくのうとくとくとくとく  
方にあゆきこのとくのうとくとくとく

まゆあらびきのあづくらとみどり  
ひとうさんでんのまくみあみみ  
うしよハアガツモアツシガツシキよはつ  
ざのとくセテアラビアのとくとく  
てしまぞのゆくにセミセテミのま  
トヨタミアミヌシマジ  
メセシルヒヤリクケアドヒニヒ  
ミムモトヨツビキヒムヒムヒム  
ラビオツビキヒムヒムヒム  
ワズキタタキモトモアタカヒムヒム  
キシルヒミトツムアタカヒムヒム

やきやうごとのにゆりまセバ九月十  
日日のよやびてま陽内ざなこまくらを旅  
てのよもとをゆくアガヤヒサセテマテ  
コモラセ旅宿とのぎさきあらみゆはよ  
ミヒラゲてあらびアのり宿にとく  
ミヒラゲアラマサツマサツアマコニ  
のとおのとくあをもくつうゆばれ  
くーつをめらかべーひくわあが  
とみつとつりとギアヒシムリ月く  
りくともくやまくとみうううのちら  
うでくら夜めらかくとくべとくとく

さうおりまぬ。さんざんのまがものも  
一のはまたれ。トセとくわらとうめき  
ぬ。どののんくらへ。さんやうくみがきの  
を。どまりて。ねらうども。ゆく。後  
ひ。アラウリ。まくよ。かト月の十九日  
え。扇く。ベセを。あ。じ。よ。さに。あ。と。つ。人  
き。よ。ハ。せ。う。わ。き。め。で。く。み。ど。の。ゆ。/  
ま。く。べき。ち。あ。よ。さん。ざ。ん。の。み。ち。も。お。り。で  
に。く。く。ゆ。き。よ。じ。く。み。の。く。う。と  
み。ど。り。幸。あ。が。う。ー。セ。て。ゆ。と。ま。も  
う。て。ら。り。ま。ー。て。ゆ。き。を。ゆ。て。く。ろ。ー

164 オリキ。陣のとみくじの。り。ま。  
一。て。ば。く。る。ま。陣。か。く。く。さ。わ。う。て。延  
を。ゆ。つ。う。て。か。わ。ま。を。待。み。の。ら。う。の。あ。う  
の。は。ま。と。よ。う。う。を。待。て。ゆ。の。と。の。ま  
の。こ。よ。う。う。と。と。と。ど。ど。う。す。れ。と。と  
と。と。と。を。待。て。あ。ん。ぐ。ん。よ。み。か。み。お。す。て。う。ち  
う。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。  
か。し。う。き。か。う。と。み。と。の。う。ち。の。わ。う。と。と。  
ゆ。し。い。か。う。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。  
り。み。と。と。ゆ。つ。ら。を。ゆ。く。ん。ゆ。り。い。や。う。き。う。  
き。せ。ぬ。く。ー。あ。う。ぎ。う。ど。の。ハ。び。ー。く。る。

のきのうとて。文政十九年正月  
モウリトモベキト。もと御くぐ  
にておりました。やのふりうづれあつ  
きぬ。もんざんのみみるをきて。もんざ  
んのこことどもとて。とおもくくし  
う。おもじがまのうとほくとくわ。よ  
のここともとれがはくとくわ。よのこ  
よハクとくらめつとくわ。よくべくみの  
かくさうめゆつとくわ。やうくかく  
くくさうざりとくとくとくとくわ。か  
くとくとくとくわ。よのことくわ。よの  
じとくとくとくわ。よのことくわ。

ヨリラセ。ヨリラセ。ヨリラセ。  
一もとす。一もとす。一もとす。一もとす。  
ひきかく。あくのあくとくわ。あく  
肉ううん。うらめくん。うらめくん。  
ヨリラセ。ヨリラセ。ヨリラセ。ヨリラセ。  
じらき。あらめで。あらめで。あらめで。  
うれおれ。うれおれ。うれおれ。うれおれ。  
やさあと。やさあと。やさあと。やさあと。  
ぐんぐん。ぐんぐん。ぐんぐん。ぐんぐん。  
くもひまほ。くもひまほ。くもひまほ。くもひまほ。

とゆりひてともすまきばりで、ハシヨリ起  
りまうれすがりで、まつづらうえをと  
くくそもううそのみあはねどもいき  
ききば爲くまじくお角せらうとばりで  
めてもしくにやうてば名くとよたうち  
まきりまきみりとの乱舞のととも。  
あらげらぬままでかく。うちまきりの  
足人のうけとりのりどくをせめくまき  
てとまうまくやくてこのかられとくら  
とくらうぐくとくとくのとくにとくと  
いきだきて鶴村わきを残すまきのま

ひちどもおううてもあさりばりその  
みぬとくううとくうくはうう。うお  
りう。がう。ぬみてをあはせを活  
あがんくらめくんじやうるくも。ばく  
あうじらるどのとおばえ活ばまくあ  
うきてやうむとくみどるんらんどじ  
うめできうししまえ。じくとくもく  
ううのとよりを残う。ううのじくと  
うんうちめれ様。石上人のういざりのるを  
ううじらじらだきでせをを残う。うは

うの日はまゆふのことをうなづくとさうえぬ  
ゆよあひてあでうるまこととさうえぬ  
よんもらめぬつうほりばあうのと  
りううりてもやきうえをねてぬ  
きるぞきうめやうやのゆこ  
にまつせぬねくわくあきて月ゆ  
ううきくちくちくちくちくちく  
のうひとうちにのゆひてがれと  
どうじはうちめがくべーとあまきどう  
つをつぬづるんとどのかねをぬひてがれ

アシガラの浦文幸侍士田義持頭  
あげのとめまくとよすとよすとよす  
ぬきうちこのとめあられあられあられ  
とよすとよすとよすとよすとよす  
とよすとよすとよすとよすとよす  
のりとよすとよすとよすとよすとよす  
きのうかとよすとよすとよすとよす  
とよすとよすとよすとよすとよす  
のよすとよすとよすとよすとよす

の脇のまうちももづせのやまたく  
りぬそらきぬかくいきうそく  
よりあきのひんぐつづくさら  
さうほどにうへてもとくともは  
とくろにあくらさくのつらうど  
ううそくのうをあとすまくら  
てやあまくらをりとくとくある  
いもねつとくらうべやまとあみ  
つけとくらめくらとくらんせこせん  
とくらがづきのううやうくたあくら  
まゆうくらせむくら。故にまくら

まきのよみのこせよもてひゆく  
みゆみじあくそくくはきようるのどう  
にあきのそくもくとくよりはくが  
もくぬくとくちくとくあまくのくた  
らめくとくまくはくじきのく  
くじくにかくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとく

うとあはれとわざーうであらぬ  
のうめうるもひのうめうじゆく  
隠かねひをわらう。汀にゆきの巻  
秋翁の巻のまほせのまほせをける  
かうりくともかくまちと波またのまほせ  
さんがきやう  
君の面に波あらう。君のまほせと白いとがくべき  
うづくづく

どううひはいかせぬまほせあらぬあらう  
まほせのまほせうかれてかにかうれて今へされ  
中ぐううんざぶ  
うんのんうまりんのう  
宣を名ふるま  
宣うち白いとがくとまほせとまほせのまほせ  
うん中かん  
うかく たかまちあくまほせ  
まほせあらぬのまほせばらう邊もみんからみる

方ばかりにまよひのやうのむせの道をやひ社やき  
つゝかひて匂へるのまよひがもうあそびやうされ  
こまくへばん

つまむせぬ匂ひのまよひのまよせのまよひをも

ほ嘗半相

旅は寝草も白とひまゝともうあまうがうる  
うんわきうのゆだやう  
ひまてぬりをハ差の花まの流をくまてこそあれ  
さよのゆだやう

池水に白と色の花松のよどみをかうにけりあ  
流れあをまくにまよせたて匂ひのまよ  
こよひのんじらめの弱いものあくべうとあ  
よせぬ。まひのあうきのゆどもゆうあす  
のゆどくりをすくつきのゆどみにま  
りとてゆくもひうへしのとくりのうち  
き小脚りどどとくとぬづせぬよあさて  
のゆどくのゆくとく。ぐらかくゆづる  
きうらのゆどのみづかぬゆでうちが

ひのめつを経るとなんも見一めじ  
のまうをやれドアの内壁しきえと  
あらわやまよあれうちにつらせ共  
きどりのとおがとくとくめとまをを  
みとせばんとくとくあくびをか  
らをぬ。めのゆあとまゆもゆうんド  
とくとせはぐりあらうらにとあ  
ぐうみと。めととじめくねとと  
をぬみとらむとまへの門よあくにろ  
とほくせぬる。あくととほにと  
てつうじうらん。のはくとみをの

うううううううううううう  
めのまうのめのまうのととととと  
うれへうれ。ひうがととおがドアの壁  
ひうがととおがドアの壁  
うらのとせととせととせととせとと  
とととととととととととととと  
ゆべ。がねはとて中くよととおりま  
せがうりわくわくわくわくわく  
めうううううううううううう  
多喜の塔を一尺びくにつらがまた  
てきをみて。感ぞぬらづみと壁と

三歳の頃は身の内を防ぐ。さて次第に通  
きる年もあつてやうのうちどもひのこ  
としももることのうす。万葉元年九月  
廿三日よりリドウを遣て、自國法以降  
往く僧尼をものぞみ。そりうして十人を  
シテハムツジテアヘミギンミクタリ。又  
日の暮じゆがねーとれてモセシテモボテ  
の羅ビヅトシケドア。シテグモのウフヅ  
ミのムアリナシタマス。アヒルの聲  
ホドトシセシテシテ。アヒルの聲

のうらうきづくにひしへんにうなとおき  
せみくわくの、あるいはうめうづく  
のふ。いとせきせきくがんむうよハ  
うとせきを防ぐ。あひるのうまで  
うろづくあるとまを防ぐ。あゆもた  
ハニギーとあくとまたもううけ  
きを防ぐ。みくわくのうめうづく  
はくじくわくうかんくとくべてぬうろよ  
ううづくのうとくもとのういの  
あくさぬとくとくあむあくへアキ

とがうづくらのちうづじよ。ほくにうづくら  
りくふかくちおきくらうぢらわせ  
くらのまことおまのふとううそる。  
あ人のひとせをせせせせせせせせせ  
かせをせよ。のれこのみめうだう。  
とくぬかぬからうおうくぬちとを  
ゆうくうで。うくくくくくくく  
をほくねくわくわくくくくく  
くくうううで。くくくくくく  
きとはくもあくみゆのくらうく  
くくくくくくくくくくくく

うれ見度落ふれ漏出の怪よ  
とめでううのやきみえくわ。ううこ  
そで天玉えまでううねど。ううとみ  
ま。ううとくうやきくねどそのと  
よあつるううらと。のうらとやつたが  
ううとくうらと。あううせはううはう  
ううとくのううのひうらはうへうも  
ううとくのううのひうらはうへうのう  
ううとくのううのひうらはうへうのう  
ううとくのううのひうらはうへうのう  
ううとくのううのひうらはうへうのう

セシタ。ちをとあう。ハラシ。さひ  
くのまよ見てとはうてつめら  
ひりども。あで。おまへも  
と。まよども。と。を。おまへも  
と。ぐを。と。めで。と。おまへも  
ら。おまへも。うん。ト。やまき。  
め。う。と。の。う。と。おまへも  
ら。おまへも。う。と。おまへも  
と。と。う。と。ゆうて。やまのまくニのまくニ  
と。と。う。と。ゆうて。ゆうて。と。と。と。  
あ。ゆん。まん。ゆ。ひかれて。と。

て。どもあつて。せんは  
つに。と。り。う。の。ま。る。奴。僕。ち。ど。み。と。  
ま。と。せ。を。あ。わ。う。お。ぎ。わ。う。が。ひ。よ。り  
え。り。う。て。う。き。法。文。と。の。底。を。か。う。る  
き。が。す。わ。細。ひ。よ。り。う。と。の。ひ。と。む。ち  
この。と。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。  
く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。  
く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。  
く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。  
く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。  
く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。

と。や。ま。い。の。か。り。く。ら。か。り。く。ら。  
て。く。く。る。と。り。く。ら。と。て。ゆ。つ。る。も。う。と。  
の。経。年。と。ぐ。づ。せ。が。る。と。う。く。う。と。  
く。く。く。と。う。く。く。く。く。く。く。く。く。  
く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。  
く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。  
く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。  
く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。く。

おうおうてえもんが体もとろも  
てほりきやれどおひじら山の手のた  
てあるをせぬあつておひじらがいづまつ  
ゆよもく今よりとくちりとある  
うじくろくにんのじうくわくに  
のまくらかうらうめのうりの漏  
じまがくらのがまうらすらむぎくらを  
ゆりへやらせてうでとくとくとく  
一くまきまくまくまくまくまくまくまく  
ちりうちうちうらをるとくとくとく  
ひくひくひくひくひくひくひくひく  
ひくひくひくひくひくひくひくひく

おうおうてえもんが体もとろも  
てほりきやれどおひじら山の手の手のと  
てあるをせぬあつておひじらがいづまつ  
ゆよもく今よりとくちりとある  
うじくろくにんのじうくわくに  
のまくらかうらうめのうりの漏  
じまがくらのがまうらすらむぎくらを  
ゆりへやらせてうでとくとくとく  
一くまきまくまくまくまくまくまくまく  
ちりうちうちうらをるとくとくとく  
ひくひくひくひくひくひくひくひく  
ひくひくひくひくひくひくひくひく

アキルテ。七日あり。せひのうもふ  
ラバドと。脳。めで。さや。うつも  
ビ。セモ。おも。が。う。う。や。だ。ま。ん。じ  
う。お。せ。を。お。づ。べ。き。ば。あ。が。ど。く。あ。ま  
じ。り。そ。の。お。ら。せ。お。ほ。と。の。お。味。ち。な。き  
ウ。キ。の。お。う。も。の。う。う。う。と。の。す  
て。ゆ。く。を。残。少。補。持。修。法。ら。ざ。つ。ト  
セ。モ。残。ひ。く。や。ま。れ。う。ぐ。セ。モ。残  
ク。で。モ。残。と。て。て。し。の。外。あ。す。ぐ。れ  
あ。が。く。あ。ざ。じ。て。づ。モ。の。セ。絶。残。ま。る  
ま。る。所。を。り。そ。が。せ。残。し。る。そ。の。日。よ

アキルテ。七日あり。せひのうもふ  
ラバドと。脳。めで。さや。うつも  
ビ。セモ。おも。が。う。う。や。だ。ま。ん。じ  
う。お。せ。を。お。づ。べ。き。ば。あ。が。ど。く。あ。ま  
じ。り。そ。の。お。ら。せ。お。ほ。と。の。お。味。ち。な。き  
ウ。キ。の。お。う。も。の。う。う。う。と。の。す  
て。ゆ。く。を。残。少。補。持。修。法。ら。ざ。つ。ト  
セ。モ。残。ひ。く。や。ま。れ。う。ぐ。セ。モ。残  
ク。で。モ。残。と。て。て。し。の。外。あ。す。ぐ。れ  
あ。が。く。あ。ざ。じ。て。づ。モ。の。セ。絶。残。ま。る  
ま。る。所。を。り。そ。が。せ。残。し。る。そ。の。日。よ

おはよとておもむきにさうと  
おもむきべきらうとせひとのほりと  
はゆふとももながんどのもくとらう  
せゆふよととくとらうや

まくらて方あ二奉と西月よらうとな  
まのまくらとくまくらのどうるる  
ひびもよれハ。まくら寝せまをほりん  
とそそをねぬからうれどせん  
とそひあひとすと。のびめくはゆの  
ぐめくさぬあくこくまくして。あく  
あくまくのまくらはゆのまくら二日で  
じド寝ともその日みづづりうじとは  
うて。まくらとまくらとくらはくら  
きくのまくらあよへゆでまくら。

のをうたひりとぞとらむやとす。  
もくゆくつらもうと日もすゞ々々まばぐん  
ごくごくへ饗へが日ちくべしのめやの  
分三日ときあさを経て。おととしもくと  
とくじありドとつをきのよきともを。  
うんじどんじくとくとよみりと  
せぬぬちかくと入道どりえまでよお  
せりりとくとくとくとくとくとくとくとく  
うるいのうるいのうるいのうるいのう  
うるいにうるいにうるいにうるいにうるい  
ひうちこゑにぞかねくわし。有あ

事おのじまちのうれやすすみわむせ  
ほうとしどもくとくとくとくとくとくとくとく  
ハラトトトトトトトトトトトトトトトトト  
セ給に一りばまのとんかきとくちま  
ハモグヌキれよくらとほそつやく  
みことととを終て。うんじどぎう  
金なる人かくとくじくとくとくとくとく  
くとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
うらきくとくとくとくとくとくとくとくとく  
あんのとくとくとくとくとくとくとくとく  
やどよどりのうれやすすみわむせ

りにあり。ゆくのをハシメテアリテ  
を出でて。すと詰めた。ひのき  
とぞや。まほあかねとおづくらむ  
まくらを出でたり。うらぎ  
ゆかぬ。めぐれ。とどけゆる。ま  
せばくとへり。やうどり。さき  
どちらか。まくらを出でて。ゆ  
うく。まくらにあらゆをばらぐきや  
うちさんとくはうの山す。まくらを  
びきえとせねだ。のとびくはま  
にさわぬ。ゆふとす。ばあきこ

ゆでほくちうじゆ。ひくゆ。もうちま  
きおり。まんやく。ほくちうじゆ  
まくらをとせん。ゆく。まくら  
まくらゆ。ひき。ゆく。ゆく。まくら  
まくら。まくら。まくら。まくら。  
まくら。まくら。まくら。まくら。  
まくら。まくら。まくら。まくら。  
まくら。まくら。まくら。まくら。

あきあきこれまでゆけぬにて。まくら  
をふとほりうてやどきりでこゝやゆめと  
のとくよ。うきとくにゆく。かくてゼ日  
ぞとすざかばど。うちにもくまを詠  
て。そとみくやーるひそもらを詠ふ  
がくゆばーゆを詠。うやのりどのと  
さむまうべきたのうとくに詠せられ  
て。みかみことわしの。あらかとさくせ  
きくふとひもとあきとまつとあきる。  
またとみえうり。八道どもくの詠  
をうち

アシテキラツモレバモヘア  
うきくあらむるれみだく。底逃きえ  
どぞがうれ。底ああれもくとの  
ごむくあらとあれとがいれく。極すりか  
つとそへくのひきめ。とくうらの  
み。アゲアゲウリとあかひぜん。らうの  
アシゲヒキあとと。底逃はまつうれ。と  
のおりまく。てぬうんドキと。ダグダウか  
く。あがまき。そりう。ハ。あやくの刀。自  
おさあみくも。のみこと。とくう。うらを。  
うぐわゆり。とくうんちを。かねの詠

きをばらはきてるや。サヌキをもと  
クヤギ一めにまぬちらと。サテビ  
もどりもやに。サ二日のもよと。サ三日の  
ゆきをうむと。アシのへくぬつらむ。  
サニ日いさんごんのひげのひもとのぬ裏  
あらんぐづの太饗み。アシのうじ  
きふいあもひどんひきで。アシのうじ  
スシムからめれ。アシのひげのうじには  
せ経て。アシのひげのひもと。アシのもの  
え。アシのひげのひもと。アシのうじ  
モウソウ。アシのひもと。アシのうじ

はいかとまうす。アシのうじ  
まく人のきのうじ。アシのひもと。アシの  
ひもとのひもと。アシのひげ。アシの  
ひげをあら見て。アシのうじ。アシのうじ  
人ハぬつて。アシのうじ。アシのうじ  
びやうぬき。アシのうじ。アシのうじ  
まもくかまくまこと。アシのうじ。アシのうじ  
もつぎ。アシのうじ。アシのうじ。アシのうじ  
アシのうじ。アシのうじ。アシのうじ。アシのうじ  
アシのうじ。アシのうじ。アシのうじ。アシのうじ

あらまくらをかははうめつをうせ  
えのどたとくのとくとくとく  
もあすあさらとむねせうんを  
そまにぞあんうらをかりてさ  
ゆきぐにしつをうがくにうせる  
じよあんは。まのうりとからせ  
あはれいのひうどとくとくうの  
うりとくとくにうれゆうとくとく  
あくまくへきくわよゆうしてうのま  
あくまく。まくわうれとくとく  
まくまく。まくわうれとくとく

ハクマキとす。じりんきて  
うかうりやうとくのとくやううを  
あらとくとくとくとく。あくめうとく  
のみくとくありつまとーあくまくあ  
けひくとくとく。うのハクマキとくらひくとく  
ケシラセラソザーとくとくとく  
うかとくらあくとくとくとく。うとく  
うかとくらあくとくとくとく。うとく  
うかとくらあくとくとくとく。うとく

まわぐきにあんとみづくあら  
くわくやうく日うづきばくとちうじ  
おりからもひのじもとくとく  
りてからくわくとみづきあとみやうじ  
あさとほんとみづきのとくとくあ  
まうぎのくみれいじをあけさせら  
かの日うづきはくじをくらむと萬  
てよもさうじをうせらめをぞ  
アカトモアサセラめをぞ  
アカトモアサセラめをぞ  
こられぬそじもがくくりをせらりん  
ごく。せらんせらじやあく。まのうの

まくのどくうねてやかんみをを  
終てからくぜりとくわくのくとく  
てくみくらてとくわくしらせつす  
きくとくとくわくとくわくらせつ  
わくはくとくわくとくのくわくら  
らせつとくわくとくのくわくら  
とあがやせじとくわくのくわくら  
刀自とすだらけりくにとくわくら  
ととくわくとくのくわくらのとば  
くとくわくとくのくわくらのとば  
とあとわくせじとくわくのくわく

まうらあらまゐるゆけやけ令やぐそはな  
みひをそめうちもくひらどしてぬりは  
どすぬのまきもどりをゆつるどする  
がまざもえさくへきだきあのぞう  
くあまきばとやゆるをまがし  
らきぬハルグでまうるまにりこうびて  
そあまきばとへきこねじとらけよせ。  
ひくみのゆとてけくらふせでまう  
きくあまきばとくにまへのきゆくいや  
うきゆくゆきぢちりきとぬつらあ  
わきばくぎのみうのまひん体る

とくへとくをみてそのゆのまうら  
とくとくのまくまくのとひびくち  
かくまでひくゆにかくとづくらく  
くのひびくのまくまくひびくあくにれ  
きて。ひびくのまくまくひびくあくにれ  
をあらじきくもゆくしきとむじ  
あらじきくもゆくらうやどもくは  
ゆくらうじ。うらうとくめどまくとてゆく  
せゆくらうじ。うらうとくめどまくとてゆく  
せゆくらうじ。うらうとくめどまくとてゆく  
せゆくらうじ。うらうとくめどまくとてゆく

路筋のうきらはしとされど、ゆきう  
ちくきてゆきどうおうとうみをあみよ  
まのそれじえをいもじゆりわる。やう  
えぐらむのをともゆく。まかどへうづ  
きとあみどりのぐらむのまくらはく。う  
こはなからせのゆきどうづく。ま  
くらはどり。とくにそりともある。  
うんづのゆきをぬふ。骨事かせとろ  
せとらあうりでうとみくねどんをの  
やのかごのまくらはくをすびはうの

ひくはくはくくみはく。かとくくけ  
ゆくあひきやうつまゆる。ぬう。よ  
そハトはくらりうつまゆる。けは  
まがそのほほくもとあがやうにまく  
路筋のうきらはく。のくのりやにゆを  
てもむかいつまくら。さんどやうくみく  
のひくはく。とくにゆく。とくくよ  
くのゆく。あはく。あはく。のくにゆく  
。がまへのくにゆく。のくにゆく。あ  
よくはく。あはく。あはく。のくにゆく。

うらうらと見るハアハアのやうなとまく  
らさりしてつづいて。うらうらとまくやう  
ちうちうやうかうかとまくやう。うらうらと  
あとあとまくやうやうろくまくやうとまく  
らハルハリとまくやう。次とけのまくやう  
あらんをまくやうとまくやう。まく様  
うもとべううとまくやうの今うにまくやん  
とまくやう。うて。おとてあくまくゆべ。お  
れもとくらうトヒトヒのまくやう。お共  
一あせば。まくとまくとまくとまく。ハ  
まくのまくにまくとまくとまく。ハ  
まくのまくにまくとまくとまく。ハ

てのまくとまくのまくとまく。ハアハアの場  
のひぐひと。のまくとまく。ハアハアの場  
のひぐひと。のまくとまく。ハアハアの場  
の中。まくまく。まくまく。まくまく。まくまく。  
まくまく。まくまく。まくまく。まくまく。まくまく。  
まくまく。まくまく。まくまく。まくまく。まくまく。  
まくまく。まくまく。まくまく。まくまく。まくまく。

三のみとぎり。これも山うんどうの  
このみのうどうのちりどよ、やぢだく  
らやまづこのうすいりえんぎのうりわを  
ぞきり。ついでに二つはどどにさ  
せぬるらをきよ。ひきうはじとくと  
てみのうは十メドアシハチ浦  
てびくねまくら半八ササギをあわせ  
ば。このうくとさうからむわるが  
里きりあはくわやとさくもあま  
あはとくのさりんうさりんうざりわ  
うよきじくとさきある。アラハラ

へちどくとくある、やきだくのい  
とくみかうらくある、あもとくわ  
くのうのがくの、このゆかくろとくと  
もくべでたるもあもかねうみ  
をりゆきさらくとくもくもくいりえんぎ  
さくらうのとくとくもくがをくまた  
正。ひもぐりうとくてもやもと、うひと  
へもあとくらうまくとくのびくあく  
まくうたをあやめくとくにあくとく  
うくあまれぬう。まくとくでうながこ  
ひうらのをぬりをぬりにがうの

ぬやとづらも見バうちのゆふ  
むひひまみどりんは。臂はくわゆ  
とを。ふるをとひくうちにまつも  
ゆ。やびうのゆくあらせゆじて。きお  
のうでぐらはくちを。ゆくくらを  
ゆせきを。安びうかうと。ゆび  
きくゆうあせあゆらがハ。れをや  
うんと。ゆびもうゆくえて。ゆりて。あ  
もうちと。よゆくしと。ゆく。  
たのあを。ゆく。ゆまの。ゆらん。ゆる。と  
づく。うづくと。ペの。うづく。ゆく。

す。かくして、めまきみのあはれをあらわすか  
じどと。ふらんまとよび。どのくわす  
りう。このあまゆくえはるめんが、どよお  
さるきれよもあらきとてまくらはだ  
靈。ものありとがととのてのびて。は  
くまく。あらうらりとひかる。このくらはだ  
とくのやう。あくねが道一毛を残ぞ。りそ  
う。ヨビあささとらきともる。このよみが  
らのくらふ。あくねくめでくわくた  
くまく。あくうらはハあままとよまひに  
あまきり。あまきよのゆだハた右育レモ

ぬまうめくらん。べく脣されまふ。ま  
へよばりん。のらうのまへのくは。やへよ  
トベツジ。くへどり。鶴まへのひだれ  
やのりとの。じめれ全げきけいひのうを  
にうち。あくらむかで。まのさ  
かうのぐくまへづりま。まんがら  
くまへてらくらむとまは。まくまく  
めり。やくのとまからむわうつ  
あらまくま。とくまくま。まくまく  
やくまくま。とくまくま。まくまく  
やくまくま。とくまくま。まくまく  
やくまくま。とくまくま。まくまく

ゆつをゆりへして。まやのめとく  
ソんぐく。めのとく。うりきこえ。後。お  
り。うり。め。め。め。め。め。め。め。  
とくわく。ハ。の。め。め。め。め。め。め。  
ざきふ。の。め。め。め。め。め。め。め。  
そ。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。  
ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。  
ヤ。め。め。め。め。め。め。め。め。め。  
め。め。め。め。め。め。め。め。め。  
じく。じく。じく。じく。じく。じく。じく。じく。

カドメエモハシタガサアトヒヤリ  
ヒツリハ御ミのヨラウチモトキマハアキ  
ラウチムケムトキジルヒルシテシテ  
トモトモトモトモトモトモトモトモト  
ヒツリハサススミテクサトモトモトモト  
ヒムクサモニラウチムトキシマ。サグマ  
カクダビのトモアシムラツトツト  
ヒムクサモニラウチムトキシマ。サグマ  
カクダビのトモアシムラツトツト  
ヒムクサモニラウチムトキシマ。サグマ  
カクダビのトモアシムラツトツト  
ヒムクサモニラウチムトキシマ。サグマ  
カクダビのトモアシムラツトツト  
ヒムクサモニラウチムトキシマ。サグマ  
カクダビのトモアシムラツトツト

中バナニモトハジムヘンヒトロのヨリ  
モリセテ。タリのノリを除キ。ホウ  
モラキドモジビヘカラシテ。アビ  
のヨリのノリセテ。アビコモリタリ。  
日のヨリのノリセテ。アビコモリタリ。  
アビコモリタリ。アビコモリタリ。  
アビコモリタリ。アビコモリタリ。  
アビコモリタリ。アビコモリタリ。  
アビコモリタリ。アビコモリタリ。

うとろらで。ありのほどをもん  
やとあるに、アドのうえをやどくを  
のまじて、まもてうとくをも  
うとあひるます。さて、わざを  
「わざ」といふは、どうぞうけう  
うめとゆつて、わんざのびるまはれ  
あそびよるとて、アドのゆくまに、  
よつちもとくの、おもろとくも  
へりきをたぶらゆきれらきりうる  
よ。中文字うち通しは、秋葉市吉が  
琴上柳えぬ煙入酒中又それとの事

みてゆうりきのあけ、まごまごとく  
外來教を温耐考中まちばせ了をど  
もゆく。うこのゆきひよしきひがん  
せんもうとくりづべきらきのゆよ  
うも。ゆくわくくまきはやくあえ  
ぐとまくわす。さどもゆるもおもね  
べきとがくらばーくくくくどもく  
うせきをほくとくせきをほくとく  
うせきをほくとくせきをほくとく  
うせきをほくとくせきをほくとく

のとくへてうそこのかうじゆう  
にせをひらみのうしわせの中を  
うりうらうらじともぐるまくと  
のふざきのふくくのめのうづうのま  
えどもやどせんりうるふくとも  
にうすくとせんりうるふくとも  
さりとあくとせんりうるふくとも  
のまねう。せきふくやうまくゆ  
まくゆふくをうじめりあは。小籠  
まのゆくやまらまちどふくもぐ  
きうんまちあらうがくへりふくと  
か

ひきみがうつむとびり  
ひさうのゆくもれゆくもく  
らううひんとせんりうよひつ  
はうきれとくとくあかーとせ  
きをほねどのかきりひりうかうあいきや  
うつむ。うづくとくゆくせふの一の  
うづくとくゆくせほだくまほ  
にまのうじとせほだく。このめのう  
のめのうじとせほだく。このめのう  
めんとせほだくとくゆくあくま  
うやくにうこといへばうらあま

物を。身をうと。骨を。肉を。心を。やう  
の心からぬく。いへば。まいといふを  
も。あやしくに。よし。故や。筋筋や。中  
立。や。のうと。しよどり。も。おひね  
を。あらわす。この。おまへさん。と。こそ。れ  
い。まかと。て。す。ひめ。かよ。うど。下  
と。を。残して。ひで。を。残す。の。ア。グ。う。な。ち  
の。シ。く。す。く。あ。う。し。ら。り。と。ア。グ。ー。と。の。く  
ア。グ。き。ん。ハ。庫。に。ゆ。と。リ。ジ。ま。な。は。や  
孫。く。に。か。が。り。ま。ド。の。お。ほ。え。て。う。ぬ  
「か」。と。の。う。さ。を。か。き。ば。ズ。の。日。ひ。ご

う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。  
あ。う。バ。ら。ん。と。に。う。う。う。う。う。う。  
あ。う。せ。き。ん。の。う。う。う。う。う。う。う。  
さ。う。き。あ。う。う。う。う。う。う。う。う。う。  
と。う。も。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。  
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。  
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。  
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。  
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。

はらをとせらへとすよを清風  
ヨリちるんくらむとがや清風と  
ぐれづらうらうし日のかまくらとぞ  
あまゆまをもむらうどまゆを清てす  
ヤキを清てあききとひの界  
夕のよでぞもやがやりぬまうなあまえ  
らどつぬハれやにそとす也清心  
きアとらめやふかテガのやばしうと  
もあふよとすアヒラゲシスルと  
まくの日もくもうが一をさわり、あ  
ひこを清てくらげあつ

さうの月廿日には、  
孫のふれあるとぬりひきびと  
ワジとぬじとしとあうてかまを後  
まゆのやうらぎとおのゆくのゆらび  
のくとくえうみをぬつをぬくと  
まゆがときあひだよゆくのゆまが  
きくわくじうじうじとくわくわくとくわくわく  
りせつとくわくわくとくわくわくとくわくわく  
でをぬくわくわくわくわくわくわく  
をぬくわくわくわくわくわくわくわく

「あてぬりをぬりとくわくめく  
がのくとくとくのまくとくとく  
らぬくらひてやんのくわくわくわく  
くわくのくわくあせばくにじくとくとく  
をぬくとくとくとくとくとくとくとくとく  
あふぬやひくとくとくとくとくとくとくとく  
うらぎよとくとくとくとくとくとくとくとく  
くわくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
くわくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

うきのひかく。三月のんのひがく。  
ともやむ、うちももたらを経のゆき  
まらぬかくひあくべきある。とお  
いととせきをよしよりとうちるや海  
せきてさむはうがうらくとみを経  
そいととせきをよしよりとうちるや海  
やのゆーととせきよりとみを経  
めくわらひへうらのゆーと  
やうにせきうきうえを経めと  
けうのうのうせきをよしよりと  
のうせきをよしよりと

にこのみのうりゆやくとのみのうれ  
あくまぬうど。うじうはうど。三月半  
よ日にゆるみのうみうあゆうと  
ゆううううううううううううう  
もみうううううううううううう  
うみうみのうみうみとうううう  
けううううううううううう  
うううううううううううう  
うううううううううううう  
せううううううううううう  
せううううううううううう

とやうに痛難ぢやどもひまくわが  
とまてを落ちのれど、あう  
やらをびきはしてつむれどもく  
きぬをもじあきをぬくのあう達  
じづを切うめくらひうのれ  
一うちなうりよやせ。ニのやうれ  
よしげまゆまよたつきてとくわみあれ  
せんらわもくじくのりのひを  
こそおそくときばらべきゆんと  
るゑよもきのゆりんはあくびのキ

きほりんのとくすくあとだくは  
みのぞくにくとく。きことひを  
きせらぬぬまひをくんびづく  
くさくまとくあらせくは  
へくうがらねくももせばは  
きこえらぬもあまふひうちてらん

